

BDHQ での日本人の食事摂取基準(2010 年版)に対応した個人結果帳票印刷の開始

■お知らせ

2010 年 4 月から 2015 年 3 月まで、「日本人の食事摂取基準(2005 年版)」に代わって、「日本人の食事摂取基準(2010 年版)」が使われることになりました。この改定に伴い、BDHQ の個人結果帳票における摂取量の良否の判断基準も改定し、これに対応した個人結果帳票の印刷を開始します。

ただし、DHQBOX ユーザーの皆様にも、すでに CD-ROM で配布されている、個人結果帳票出力用のプログラムには適用されませんので、ご注意ください。

■関係するところ(個人結果帳票)

次の部分で日本人の食事摂取基準(2010 年版)の数値を用いています。

- (1)個人結果帳票の中で、栄養素摂取量の良否について判断しているところ(青信号、黄色信号、赤信号で示しています)
- (2)栄養素摂取量と比較する目的で食事摂取基準の推定平均必要量・推奨量・目安量・目標量を表示しているところ
- (3)BDHQ から得られる栄養素や食品摂取量の過小・過大申告の程度を評価し、調整するために用いている推定エネルギー必要量

なお、BDHQ では通常以外の食品の摂取量は尋ねていないため、耐容上限量は用いていません。

■関係するところ(栄養価計算結果データファイル:Excel ファイル)

次の部分で日本人の食事摂取基準(2010 年版)の数値を用いています。

栄養価計算結果データファイル(Excel ファイル)に格納される、対象者の推定エネルギー必要量・推定平均必要量・推奨量・目安量・目標量と栄養素摂取量の良否について判断した結果。なお、BDHQ では通常以外の食品の摂取量は尋ねていないため、耐容上限量は用いていません。

■重要なご注意とお願い

本年度はバグがないかなどを確認しながら進めさせていただきます。その可能性などについてお気づきになった方はぜひ開発者までコメントをいただければ幸いです。

コメントは、DHQ サポートセンターにお送りくだされば、そのまま開発者に転送されます。

ただし、疑問や問題の探索にはかなりの時間と作業を要することも多く、そのために、ご質問などにすぐにお答えできない場合も多いことをあらかじめご了解いただきたいと存じます。

■文献

日本人の食事摂取基準(2010 年版)の詳細については、次の文献をご覧ください。

- ・「日本人の食事摂取基準」策定検討会。「日本人の食事摂取基準」策定検討会報告書。厚生労働省、東京。2009。[日本人の食事摂取基準(2010 年版)。第一出版、2009、2800 円+税 に掲載されている][厚生労働省のホームページ：<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/sessyu-kijun.html> でも閲覧できる]
- ・佐々木敏。食事摂取基準入門--そのころを読む--。同文書院。2010、1500 円+税。
- ・田中平三。臨床栄養別冊：日本人の食事摂取基準 2010 年版 完全ガイド。医歯薬出版。2009、2700 円+税。